

令和元年11月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 函館の街づくりとSDGs

企画実施概要： ①企画内容
函館市における国際交流の取り組みや、街づくりについて(函館の魅力について)話を聞き、街づくりにおける課題とSDGsの取り組みについて考える。

②目的
函館市の魅力や、街づくりの課題についてSDGsの取り組みの視点からお話を伺うことにより、学習旅行における学びを深める。

③対象者および参加予定人数
小学生6年101名、引率教員8名

2 出張者氏名 池田 誠

3 依頼元／主催団体名 岩手大学教育学部附属小学校

4 実施予定日時 令和元年10月18日 (金) 09:30～10:30

5 実施場所 湯の川温泉 ホテル河畔亭(函館市湯川町2-5-23)

6 実施報告 岩手県ですでにSDGsなどの活動を学んできている児童たちに、改めてSDGsとは何か、そして、身近なことにどんなことがあるのかを考えてもらえるように話をした。子どもたちにもわかりやすいように、世界の状況と、函館、そして岩手の子どもたちが自分事として考えられるように話を展開した。それぞれから、感想を求めたところ、自分でも始められることを考えたとか、親とじっくり話したいなど前向きな意見が得られた。今後とも、子どもの時から国際を意識できるような話題提供やワークショップを行ってゆきたいと思った。

7 写真



講義の様子



講義の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年4月3日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
難民を助ける会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 相模女子大学高等部への出張講演

企画実施概要： ①実施内容
高校1年生を対象に「難民問題とSDGs」と題した講演を行った。

②対象者および参加人数
高校1年生 57名、教員3名

2 出張者氏名 穂積武寛

3 依頼元／主催団体名 相模女子大学高等部

4 実施予定日時 令和1年10月19日（土） 10:40～12:10

5 実施場所 相模女子大学高等部（住所：神奈川県相模原市）

6 実施報告

・相模女子大学高等部では、様々な国際問題とSDGsとの関連について学習を行っている。今回の講演会では、難民問題について理解してもらうとともに、それがSDGsとどう関わるのかを、ワークを通して考えてもらった。

・参加者が高校1年生57名と、通常のグループワーク形式を実施するには人数が多かったため、ひとりひとりにワークシートを配り、個別に考えてもらう形式とした。

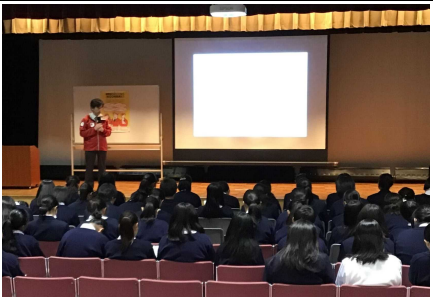
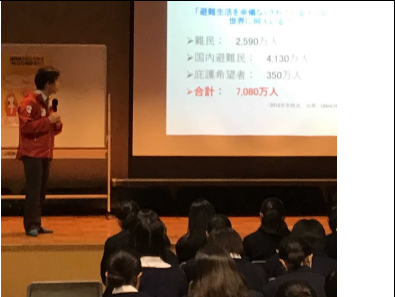
・全体を2部構成とし、前半では難民の定義や最新の統計など難民問題の概要を説明したうえで自分が難民となったらどのような問題があるかやどう対応するかなどを考えてもらうオリジナルのワークショップ「わたしが難民になったら」を行った。

・後半では、最初にシリア難民の家族の写真を見せ、彼らがどんな問題を抱えていると考えられるか、そしてその問題はSDGsの17のゴールのどれと関連するか、を考えてもらった。たった1枚の写真ではあったが、「きちんと栄養は摂れているのか」、「子どもたちの教育は大丈夫か」、「不公平な扱いを受けていないか」、などSDGsに直結する問題が複数存在することを実感してもらった。

・さらに、ひとりひとりの特技を1つ書いてもらい、それを活かしながら、写真で浮かび上がった問題の解決にどう貢献するかを考えてもらった。この際、「問題を知ってもらう」「必要な資金を集める」「現場での支援に役立てる」のいずれかの目的に資するようなことを考えるとよい、とアドバイスした。

・検討結果を数人に発表してもらったが、「現地でサッカー大会を開催する」、「現地の音楽を学んでコンサートをする」などのアイデアが出た。複数のアイデアを記入した生徒もいて、高校生レベルでも難民問題のような大きな国際問題に何らかの形で関わり、問題解決に貢献することは可能なのだ、ということには実感してもらえたと思う。

7 写真

	
講演の全体風景	講義を交えつつ、参加者一人一人が配布されたワークシートに各自の考えを記入していった

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年4月3日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
難民を助ける会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 関西国際保健勉強会 ぼちぼちの会での講演

企画実施概要： ①実施内容
国際協力に関心のある大学生から50代までの医療従事者や一般の方を対象に、国際協力とキャリアの2つのテーマで講演した。

②対象者および参加人数
対象：大学生から50代までの医療従事者や一般の方 17名

2 出張者氏名 後藤由布子

3 依頼元／主催団体名 関西国際保健勉強会 ぼちぼちの会

4 実施予定日時 令和1年10月26日（土） 18:30～20:30

5 実施場所 （大阪府大阪市）

6 実施報告
・関西の医療従事者で構成される関西国際保健勉強会で、医療従事者および一般の方を対象に国際協力とキャリアについて講義を行った。この勉強会は、毎月1回開催されており、医療関係者でない人も含む国際協力関係者を広く招待し現場の声を聞いている。今回は、国際協力とキャリアをテーマに、難民の概要やNGOで実施している難民支援、そしてキャリアについて120分の講義を行った。

・参加者は青年海外協力隊を経験した方や、毎月の勉強会を通じて国際協力のことを学ばれている方、医療関係のボランティアを海外で経験したことのある方、大学で国際協力のキャリアについて相談を受けている方など、国際協力に関心のある方が多かった。

・難民の概要の話を通じて、難民条約上の難民の定義、国内避難民と難民の違い、難民を多く出している国や逆に受け入れている国について知ることができたという意見があった。

・「わたしもし難民になったら」というワークショップを行った。これは難民が直面する悩みを体験するもので、4人から5人の1グループをシリア難民の家族と仮定し、家族ごとに異なる事情を考慮し、避難先に留まるか、祖国に戻るか、第3国を目指すかという3つの選択肢の中から家族の動向を決めるというものである。参加者からは、ニュースで聞く難民問題をより自分事として考えることができた、家族の中で色々な考えがあり決断できなかった、難民は戦争や紛争から逃げてからも苦悩に直面していることを疑似体験しながら理解できた、といった意見があった。

・質疑応答では、国際協力で就職を希望する方より、現在働いている会計の会社でのキャリアから転職することは可能か、これから会計の修士号を取得したらNGOでの就職に有利かといった質問があった。これに対し、専門性を持つことはとても有益であること、会計のバックグラウンドと国際協力をどのように結びつけるかが大事であると応えた。

7 写真



講演の様子

ワークショップで話し合う参加者。写真右から2番目は、出張者で大会職員の後藤由布子。

（写真1）

（写真2）

以上

令和元年11月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 大津市市民活動センター ゲスト講演

企画実施概要： ①実施内容：主催団体のイベント(2日間、2回)において、SDGs達成に向けて日本のNGOの取り組みを伝え、また一般市民によるSDGsへの関わりの事例を示すために、当団体理事を派遣する。

②対象者および参加人数：該当イベント参加者①約20名、②約80名

2 出張者氏名 大澤みずほ(パレスチナ事業担当)

3 依頼元／主催団体名 大津市市民活動センター

4 実施予定日時 令和元年10月6日(日)～7日(月) 13:30～15:30(両日とも)

5 実施場所 ①大津市市民活動センター(滋賀県大津市浜大津4-1-1)

②スカイプラザ浜大津(滋賀県大津市浜大津1-3-32)

6 実施報告
・該当企画において、日本の国際協力団体がSDGsの達成に向けて途上国の社会環境改善において果たす役割について、主に当団体の活動を事例として紹介した。
・対象である参加者からは、「パレスチナ現地のことを背景情報も含めてよく理解できた」「持続可能な国際貢献への関わりが理解できた」「国際貢献の一つの事例として学びが多くあり、友人などに紹介することができるといった」などの感想をいただいた。

7 写真

	
1日目のイベントでは、参加者との距離が近かったため、質疑応答を交えつつ現地の取り組みを伝えることができた。	2日目のイベントでは、他分野の方と同時に登壇したため、SDGsに関して分野を横断もしくは補完する視点を参加者に提供することができた。

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年10月15日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
開発教育協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: エデュコレ2019 in 関東

企画実施概要: ①企画内容
国際協力・国際理解、オルタナティブ教育に取り組んでいる教員や教育関係者、NPO/NGOが参加するセミナーで、国際協力、開発教育や国際理解教育に関する相談ブースを出展した。

②目的

- ・開発教育ワークショップを通じて、世界の問題や国際協力への理解を促す
- ・NGOやODA活動、国際協力、開発教育や国際理解教育の教材や資料の紹介
- ・開発教育、国際協力の実施に向けた相談への対応

③対象者および参加人数

関東の教育関係者、NPO/NGO、一般市民 約500名

2 出張者氏名 八木亜紀子

3 依頼元／主催団体名 エデュコレ2019実行委員会

4 実施日時 令和元年10月14日(月祝) 10:00～17:00

5 実施場所 スクエア荏原

6 実施報告 午前には開発教育の教材を使用した体験ワークショップを実施し、小中高の教員、学生などが参加した。また、ブースを設置し、参加者からの相談・質問に対応した。開発教育やSDGsを授業やプログラムで取り入れたいと考えている教員やNPO/NGOスタッフが多く、それぞれに対して適した教材や授業の方法、他のNGO団体などを紹介した。学校だけでなく、フリースクールなどの方も多く、たいへん熱心に耳を傾けてくださる方が多かった。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和2年4月1日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人

アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：長野上田高校における講演および座談会、授業への助言業務

企画実施概要：①実施内容

同校1年生を対象とした人権平和講演会において「フィリピンにおけるNGOの活動について」というテーマで講演を行った。また、同行の生徒によるフィールドワークを経て行われたプレゼンテーションの授業に対して、今後の活動内容や授業の取り組みについてNGOの視点から助言を行った。

②対象者および参加人数

1年生 320名

2 出張者氏名 西坂 幸

3 依頼元／主催団体名 長野県上田高等学校 廣田校長

4 実施予定日時 2018年10月3日 (木) 13時20分 ～ 17時45分
2018年10月3日 (金) 8時30分～12時40分

5 実施場所 長野県上田高等学校 (住所：長野県上田市)

6 実施報告 高校1年生を対象としたフィリピンにおけるNGOの活動についての講演を行い、参加した生徒からは「フィリピンの子どもたちに対して高校生として自分には何ができるのか考え、行動を起こしたい。」という行動意欲を感じるコメントをいただいた。また講演後は、国際協力への関心の高い生徒30名との座談会の場が設けられ、差別や人権に対する質問や、途上国支援に対する課題などについての意見交換を行った。「実際に現地へ行って自分の目で確かめてみたい」等、より深く知りたくなったという声を頂いた。

7 写真



講演後の質疑応答の時間には、貧困問題に対する疑問や国際協力関連のキャリアに関する質問が多くされ、国際協力やNGOの活動への関心の高さを感じた。

GS授業における助言では、学ぶ事にとどまらず、高校生自らが行動に移すことのできる機会をより多く提供する事の重要性等について意見交換を行った。

(写真1)

(写真2)

以上

令和1年11月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 福井国際フェスティバル2019

企画実施概要： ①企画内容：福井県最大の国際交流・協力のイベントに出展。「物販エリア」にて、国際協力、ボランティア等に関心ある来場者に、相談対応やNGO活動紹介などを実施した。

②対象者および参加人数：当センターへの来場者は約50名。

2 出張者氏名 堀川絵美

3 依頼元／主催団体名 公益財団法人 福井県国際交流協会

4 実施予定日時 令和1年10月27日（日） 10:00 ～ 16:00

5 実施場所 福井県国際交流会館（住所：福井県福井市）

6 実施報告 「子どもが学校でフェアトレードを習った。一緒に勉強できるような資料が欲しい。」
「フェアトレードのことを学校（高校）で研究している。どのような活動があるのか知りたい。」
「教員をしている。フェアトレードも含め、国際理解教育の実践をしていきたい。教材になるものが欲しい。」
「フェアトレードとは何か、どのような国際協力があるのか、知りたい。」

7 写真



会場の様子



ブース出展の様子

（写真1）

（写真2）

以上

令和1年10月31日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** JICA関西主催のSDGs研修会場におけるNGO相談員ブース出展
- 企画実施概要:** 奈良で開催されるJICA関西「SDGs研修会場」でブース出展を行い、NGO相談員制度の周知及び国際協力、ODA、SDGsに関する質問や講演等の依頼に対応する。また、「鷹の爪団のODAマン」の配布や「旅レジ」の紹介も併せて行う。

- 2 出張者氏名** 佐野光平(谷川と変わり当会職員の佐野が担当した)
- 3 依頼元／主催団体名** (特活)奈良NPOセンター
- 4 実施予定日時** 令和元年10月23日 (水) AM8:30~PM6:00
- 5 実施場所** 奈良県文化会会議室(住所:奈良県奈良市登大路町)
- 6 実施報告** 研修の参加者はNGO/NPO、企業、新聞社、行政(県庁、市役所、役場)、教育機関などから40名であった。
・参加者全員にNGO相談員制度及び出張サービス紹介を行った。
・NPO関係者から出張サービスでSDGs概論を実施してほしいとの要請があり出張制度を紹介した。
・地元の新聞社からSDGsをテーマにNGO/NPOと企業による対談企画について相談があった。

7 写真



午前中の研修開始前に参加者にNGO相談員制度について説明する様子



個別相談に対応する職員

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** グローバルセミナー講師および交流ラウンジでのNGO相談員ブース出展
- 企画実施概要:** 和歌山県国際協力センターで開催される『グローバルセミナー』の講師として、国際協力の支援活動の一つである「寄付」について考えるワークショップを開催し、国際協力やSDGs推進のための財源について考える機会を提供する。

2 出張者氏名 高橋美和子

3 依頼元／主催団体名 JICA関西/和歌山県国際交流センター

4 実施予定日時 令和1年10月27日（日） 13:30～16:30

5 実施場所 和歌山県国際交流センター交流ラウンジ/和歌山ビッグ愛(住所:和歌山市手平)

6 実施報告

小学生から退職世代を含む24名が参加。映画ポバティ・インク上映後のディスカッションでは活発な意見交換が行われた。

- ・「途上国＝貧しい国」という固定観念にとらわれて支援をするのではなく、何が原因となってそうした状況にあるのか、どのような原因を取り除けば、状況が改善されるのかを考えたい。
- ・国際協力も寄付による支援も必要で大切なこと、ただ資金を出すのではなく、市民がODAやNGOの活動に関心を持ってしっかり見ていく必要がある。
- ・現地で支援・調整を行うNGOは状況を見極めつつ、フェーズにあわせて柔軟な対応をすべき、欧米とは違う日本のきめ細かい丁寧な支援は大切

7 写真



参加者とディスカッションする様子

(写真1)



参加者にNGO/CSOの役割について説明する様子

(写真2)

以上

令和元年11月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 福知山淑徳高等学校での国際協力についての講演

企画実施概要: ①実施内容
国際協力・多文化共生、特にネパールの生活・文化・震災後の状況などについて講義を行った。

②対象者および参加人数
インターアクトクラブに加入している1～3年生、約35名

2 出張者氏名 山本 健太郎

3 依頼元／主催団体名 福知山淑徳高等学校

4 実施予定日時 令和元年10月21日（月） 13:30～15:30

5 実施場所 福知山淑徳高等学校（京都府福知山市正明寺36-10）

6 実施報告 同校のインターアクトクラブは、毎年、ネパールの震災復興活動を行っている。同クラブのメンバーを対象に、ネパールの震災復興の状況、当会の支援活動について講演した。また、同行した当会のネパール研修生とともに、カースト制度による差別、村の課題とそれに対する取り組みについて発表を行った。その後、講演内容をもとに学生たちが10人ずつ3つのグループに別れ、当会の研修生3名（ネパール、インドネシア、ミャンマー）とそれぞれディスカッション（質疑応答）を行った。学生たちは国際協力に対する関心が高く、活発な意見交換と質疑応答が行われ、有意義な講演会となったと言える。この講演会の学びが、今後のクラブ活動に活かされることが期待される。

7 写真



冒頭でNGO相談員制度の説明を行った。



ネパール研修生とともに震災後の復興支援について発表を行った。

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年 11月 6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：国際協力についての講演及び交流

企画実施概要：①実施内容：当会NGO相談員の坂西とアジアからの研修生2名で訪問した。NGO相談員が国際協力についての講演を、また研修生が出身地域の紹介やそれらの地域が抱える問題について講演を行った。また、研修生たちと児童とが交流する時間を持った。
②対象者および参加人数：小学4年生の児童 89名

2 出張者氏名

坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名

椋山女学園大学附属小学校

4 実施予定日時

令和元年10月25日（金） 11:40 ～ 12:25

5 実施場所

椋山女学園大学附属小学校（名古屋市千種区山添町2-2）

6 実施報告

同校の小学4年生を対象に国際協力の概要についてお話した。今回は小学4年生ということで、乳幼児死亡率から国際協力を考えるワークショップを実施、生徒の方に考える時を持ってもらった。89名という大人数であったが、積極的な参加があり、多くの意見が生徒から出た。
その後、当会の研修生2名（インドネシア、ネパール）がそれぞれの出身地域の紹介及び地域が抱える課題とその解決のための取り組みについてお話した。その後、給食の時間も共に過ごし、交流を深めた。
上記の通り、参加型で進め、小学四年生にも理解できるよう噛み砕いて説明を行った。結果、先生から「大変わかりやすく、興味深い話が多かった。もっと話を聞きたかった」とのコメントをいただいた。また授業後に給食の時間を通じた交流もでき、より親しみやすい環境で国際理解についての理解を深めることができたと思われる。

7 写真



最初にNGO相談員制度についてご紹介した

（写真1）



質疑応答の様子

（写真2）

以上

令和元年 11月 2日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 2019年度神戸YMCA秋祭りにおけるNGO相談員ブースの設置

企画実施概要: ①実施内容: 神戸YMCA秋祭り会場にてNGO相談員ブースを設置し、来場者からの相談や質問に対応した。

②対象者および参加人数: 地域住民及びYMCA関係者等の来場者
約200名

2 出張者氏名 古寺 瑞代

3 依頼元／主催団体名 公益財団法人神戸YMCA／株式会社 生活科学運営

4 実施予定日時 令和元年10月26日 (土) 11:00 ~ 15:00

5 実施場所 神戸YMCA三宮会館・ライフ&シニアハウス神戸北野
(神戸市中央区加納町2-7-11)

6 実施報告

相談員ブースの設置会場となった神戸YMCA三宮会館・ライフ&シニアハウス神戸北野は低層階にYMCA本部・専門学校が入り、学生や留学生の学習の場で、上層階は介護付き有料老人ホームとなっており、日常的に学生や留学生と入居者との交流がある施設であった。当日は晴天に恵まれ、神戸YMCAの学生や留学生、ハウスの入居者ならびに地域の方々の来場があった。秋まつりでの相談員ブースの設置が初めてということ、また学生や地域住民へのNGOの認知がそれほど進んでいないこともあり、相談内容については、NGOとは何かを説明することから始めることが多かった。今回は予想外に相談者が少なかった。今後は設置場所の検討と対象者に分かりやすいバナーなどの掲示が必要であると思う。

7 写真



相談ブースでの対応の様子。

(写真1)



相談員ブースではポスター掲示およびチラシの配布も行った。

(写真2)

以上

令和元年 11月 6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 松本教会での交流会にて国際協力についての講演

企画実施概要: ①実施内容: NGO相談員が国際協力の概要と現状、アジアの農村の現状と国際協力活動について、具体例を示しながらお話しした。また、当会のアジアの研修生から出身地域の状況や課題についてお話しした。質疑応答の時間も設け、相互理解のための交流を行った。

②対象者および参加人数: 地域住民及び教会員 約20名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 日本基督教団 松本教会

4 実施予定日時 令和元年10月30日 (水) 16:00 ~ 17:30

5 実施場所 日本基督教団 松本教会(長野県松本市開智2-3-45)

6 実施報告 同教会の交流会にて、NGO相談員が国際協力の概要と現状、とくにアジアの農村が抱える課題についてお話しした。参加者は地域の方及び、長野市、埼玉県の方など遠方の方もおられた。
内容としてはNGO相談員制度の紹介からはじめ、国際協力の概要を説明した。その後、当会の研修生がそれぞれの出身地域の状況や課題について話した。後半は参加者からの質問を受け付け、意見交換と交流の時間を設けた。
少人数でのアットホームな場だったこともあり、特に交流の時間では良い交流ができた。参加者からは「長野、松本ではなかなかこのような機会はない」という言葉をいただき、大都市以外でも実施する意義を再確認させていただいた。

7 写真



国際協力に関する講演の様子



インドネシア及びネパールの研修生とともに、アジアの農村が抱える問題について発表を行った。

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年4月3日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「総合学習社会ゼミ」国際協力NGOの活動についての講演

企画実施概要： ①NGOの国際的な活動状況をより良く理解し、
ファンドレイジング・イベントの収益金の使途について理解を深めるため
②対象者及び参加人数：各回、教師1名、生徒15名、のべ合計32名

2 出張者氏名 高山 勝

3 依頼元／主催団体名 学校法人花園学園花園中学・高等学校

4 実施予定日時 令和元年9月30日(月曜日)午後3:20～午後4:10
10月11日(金曜日)午後3:20～午後4:10

5 実施場所 花園中学・高等学校教室(京都府京都市)

6 実施報告
・SDGsに関する事項はこれまでも授業で聞いていたが、実際の現場の話が聞けて授業の内容が広がったとの感想があった。
・国際的な支援をするNGOの団体が京都にもあるということを知り人道支援という活動を身近に感じる事ができたとの感想があった。
・これからボランティアで関わるイベントの意義や自分たちの役割について理解を深めることができたという感想があった。。

7 写真

	
ファンドレイジングイベントの使途や意義について語る高山	NGOやNICCOの活動に関して解説する高山

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年4月3日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 京都文教大学総合社会学部「国際協力論」NGOの活動状況に関する講演

企画実施概要: ①企画内容: 国際協力論の授業を受講する大学生に対して日本のNGOの活動内容や動向について理解を深めるため講演する。

②目的: 国際的なNGOの活動について啓発する。

③対象者および参加人数: 教員1名、大学生54名。

2 出張者氏名 高山 勝

3 依頼元／主催団体名 京都文教大学総合社会学部 島本晴一郎

4 実施予定日時 令和元年10月30日 (水) 10:40～12:10

5 実施場所 京都文教大学14101号教室(京都府宇治市)

6 実施報告 ・SDGsの中にある持続性・継続性に関して実際の支援活動の現場で維持することの難しさを実感したとの感想があった。

・NGOが国際的な支援をする際にODA予算がかなりのウエートを占めていることが分かったとの感想があった。

・これまであまり知らなかったヨルダンやシリア難民に関して理解を深めることができたとの感想があった。

7 写真



ヨルダンでの経験(ヨルダンに住むシリア難民支援)について語る高山

(写真1)



NGOやNICCOの活動に関して解説する高山

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「2019タイムフェスティバル」での相談対応

企画実施概要： ①実施内容
鳥取県内最大級の国際交流のイベントの「団体ブース」において開場時間通して1名体制で来場者へ国際協力やODA、NGOについて紹介した。

②対応者数
イベント来場者 子供11名、大人27名 計38名

2 出張者氏名 清水信子

3 依頼元／主催団体名 第31回(2019)タイムフェスティバル実行委員会

4 実施日時 令和1年10月14日 (月) 11:00～15:30

5 実施場所 とりぎん文化会館 (住所：鳥取県鳥取市尚徳町101-5)

6 実施報告

当イベントは鳥取の国際交流・協力団体や外国人住民が、世界の料理や物品の販売、国や団体の活動の紹介、世界の歌や踊りのステージなどを通して、地域での国際理解の促進を目的に開催された。ブース来場者(小学生、中学生、大人)にたいして、展示したネパールの水がめ、各国事業パネルの紹介を通して、NGOによる国際協力活動、開発支援活動の実情を紹介した。展示した水がめを実際に手にとっていただいたうえで、水事業の説明をおこなうことで、より国際協力活動の意義を来場者に実感していただけるよう工夫をした。

一度、展示内容を見て頂いた、1人の若いお母さまが展示を見ていないお子さんを連れて再び訪問くださり、世界の水の状況をお母さまの口から伝えてくださった。小学生からは、家の蛇口をひねっても水が出てこない国があることを初めて知ったという感想があった。

7 写真



(写真1)



(写真2)

以上

2020/6/12

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「2019国際交流フェスティバル」での相談対応

企画実施概要： ①実施内容
山口県防府市内最大級の国際交流のイベントの「団体ブース」において
開場時間通して1名体制で来場者からの国際協力やODA、NGOに関する
質問・相談に対応した。

②対応者数
ブース来場者学生12名、大人9名 計21名

2 出張者氏名 清水信子

3 依頼元／主催団体名 2019年防府市国際交流フェスティバル実行委員会

4 実施日時 令和1年10月19日（土） 9:30～15:30

5 実施場所 JR防府駅てんじんぐち広場（住所：山口県防府市戎町1丁目1）

6 実施報告

当イベントは山口県防府市の国際交流・協力団体や外国人住民が、世界の料理や物品の販売、国や団体の活動の紹介、世界の歌や踊りのステージ、伝統衣装の試着体験などを通して、地域での国際理解の促進を目的に開催された。ブース来場者(小学生、大学生、大人)にたいして、展示したネパールの水がめ、各国事業紹介パネル(中東、アフリカ、アジア)を通して、NGOによる国際協力活動、開発支援活動の実情を説明した。お孫さんを連れてきたおばあちゃんが弊団体の途上国の水事業の展示を通して、お孫さんに水を無駄使いしないことの大切さや途上国の人の生活に思いをはせることの大切さを伝えてくださった。山口短期大学のブースが隣接していたため、大学関係者(教員・学生・留学生)の来場が多かった。また、同大学の教員が大学内にNGO相談員のチラシを置いて下さると15部受け取ってくださった。

7 写真



(写真1)



(写真2)

以上

令和元年11月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：国際ふれあい広場2019

企画実施概要：

①実施内容

持続可能な社会づくりのために必要な国際協力活動やSDGsの取り組みを一般市民や学生、NGO関係者に広く紹介し、ODA広報とNGO活動の広報を行った。また、高知大学のフェアトレードを推進する学生グループ「すきっぷ」と協働出展し、身近な国際協力としてフェアトレードを紹介した。

②対象者および参加人数

一般市民、NGO関係者：約1,000人

2 出張者氏名

菅 未帆

3 依頼元／主催団体名

公益財団法人 高知県国際交流協会

4 実施予定日時

令和元年10月6日（日） 10:00 ～ 16:00

5 実施場所

ひろめ市場

6 実施報告

- ・ SDGsの学びをどのように自分たちの活動に落とし込んでいったらいいのか悩んでいたのも、消費者教育等の観点から学ぶ「SDGs食堂」など、愛媛の勉強方法を紹介してもらったことで今後の活動に生かせそうだと感じた。
- ・ 他県の活動情報を生かして、もっと自分たちの活動の幅を広げていきたいと感じた。
- ・ 四国のフェアトレード推奨活動（研修活動例）を詳しく紹介してもらったので、大変勉強になった。

7 写真

	
ブースにて	ブース背面

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年11月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： かがわ国際フェスタ2019

企画実施概要： ①実施内容
相談ブースを設けて市民の国際協力に関する質問や相談に対応するとともに、NGO相談員のチラシの配布・ポスターの展示を行うことで普及啓発を行った。また、冊子「四国・国際協力NGOとODA」、ESD・SDGs関連資料等の配布を行うことで、四国の国際協力団体の活動についての広報を行った。
②対象者および参加人数
一般市民、NGO関係者：約4,000人

2 出張者氏名

菅 未帆

3 依頼元／主催団体名

かがわ国際フェスタ実行委員会

4 実施予定日時

令和元年10月14日(月) 10:00 ～ 16:00

5 実施場所

アイバル香川

6 実施報告

- ・ 四国の各NGOでは、どのような方法でどのようなサポートを外国人に対して行っているのか具体的な活動内容を知る事ができ、今後の活動に生かせそうだと感じた。
- ・ 頂いた情報をもとに、自分自身でも情報収集に励み、もっと活動のレベルアップを図りたい。
- ・ それぞれのNGOの傾向を、体験談を交えて教えていただいたので、分かりやすかった。お話しいただいた内容は香川県では実施していない内容ばかりだった。

7 写真

	
ブース	ブース背面

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人

NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「さがインターナショナルバルーンフェスタ」へのブース出展

企画実施概要： ①実施内容
JICAデスク佐賀との協働でブース出展。SDGs・NGOの活動・イベントへの案内を通して、国際協力とかかわりたい方の参加を促すほか、NGO情報を提供する。

②対象者および参加人数
約1000名

2 出張者氏名 原田君子 / 住本大輔 / 山田英行 / 佐々木健一

3 依頼元／主催団体名 JICA九州

4 実施日時 2019年10月31日（木）～11月4日（月・祝）9:00～17:00

5 実施場所 会場名：佐賀県佐賀市嘉瀬川河川敷

6 実施報告 「さがインターナショナルバルーンフェスタ」へのブース出展を行い、以下のような相談対応を行った。

- ・SDGsについて解説
- ・途上国の貧困・飢餓に何か支援したいという相談に対し、NGO等への寄付を紹介した。
- ・NGO関係の仕事をしたいという相談に対し、求人中のNGO、関連NGOのWeb上での検索を説明。
- ・貧困・飢餓・保健分野などのNGO活動を知りたいという相談に対し、パンフレットを手交しつつ説明。
- ・将来国際協力関係で働きたいという相談に対し、JICA,JOCV,NGO等の可能性、インターン制度を説明。
- ・SDGsと途上国の課題を知りたいという相談に対し、格差の拡大、貧困・飢餓・保健・環境破壊等の課題を説明。
- ・国際協力に関心のある方へ、JICAボランティア・NGO・開発コンサルタントの可能性を説明。
- ・イベントでの工作体験をした親子に対し、SDGsの認知向上のための取り組み例を説明

7 写真



SDGs・国際協力に関して質問・相談対応を行った。

(写真1)



全体的様子

(写真2)

以上